



7分野の取組「子どもの安全」

「子どもの安全分野」の目標と取組



家庭内等での事故・けがの減少

家庭内等での事故・けがに関する情報の発信

児童への安全教育 など

子育て中の親への支援

子育てに悩みがある保護者の相談及び子育て体験談の情報発信

など

子どもを不慮の事故から守りましょう

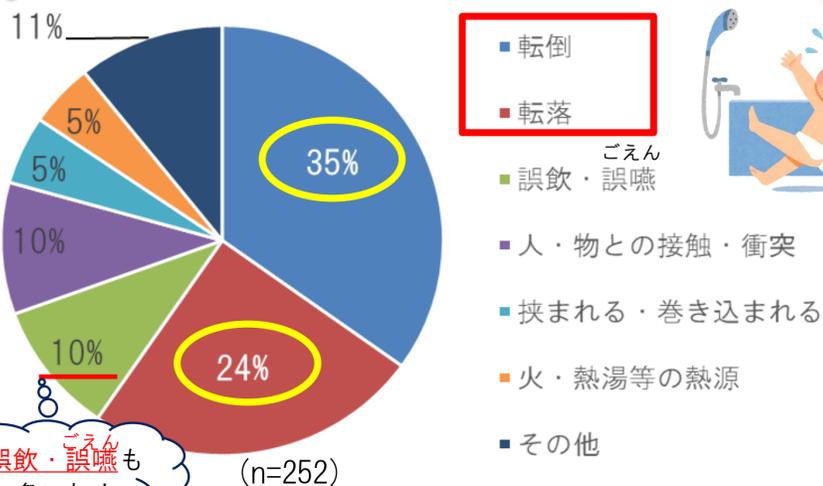
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、お子さん方も、これまでより自宅で過ごす時間が増えているのではないのでしょうか。

実は、子どものけがは自宅内で最も多く発生しています。

そこで今回は、子どもの事故・けがの傾向や予防のポイントについてご紹介します。



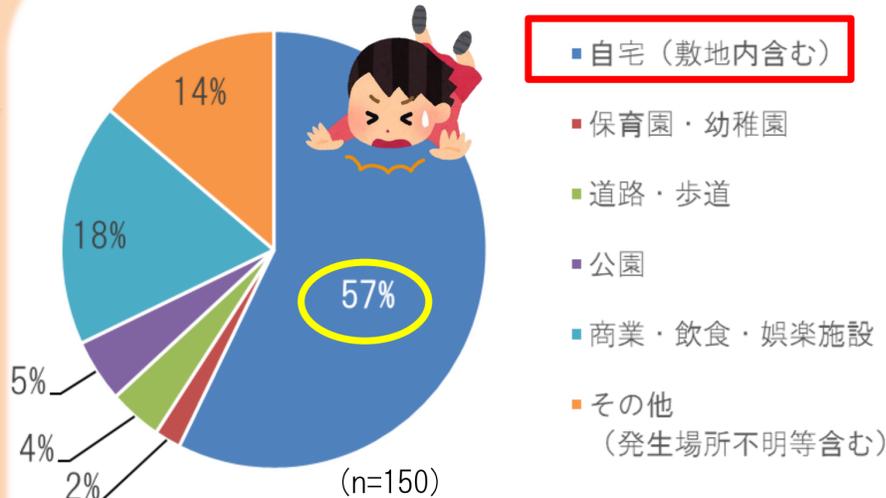
けがの種別では、「**転倒**」・「**転落**」が大部分



誤飲・誤嚥も
多いね!

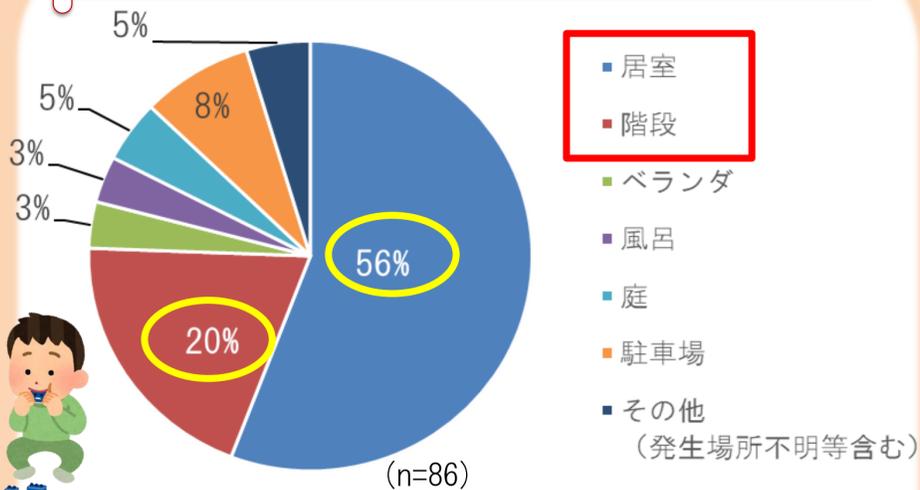
幼児は体に比べて頭が大きく、重心が高いので、大人より不安定で転びやすく、また柵などから身を乗り出すと頭から落ちやすいです。

転倒・転落の**過半数が自宅**で発生



じゅうたんやお風呂のタイルで滑って転ぶ、ベビーベッドやソファから落ちるなど、身近なところに危険がたくさん!

自宅内での転倒・転落によるけがは、**居室や階段**で起こることが多い



口に入る大きさのおもちゃなどは出しっぱなしにしない、熱い飲み物の入ったコップをテーブルの端に置かないなど、ちょっとした工夫でけがを防ぐことができます。

CHECK

自宅での子どもの事故を防ぐため、裏面の「**自宅の危険箇所マップ**」を使って、自宅内の危険な場所をチェックしてみましょう。

子どもの事故は大人が思いつかないようなことが原因で起こることも。子どもの成長に合わせて、日頃から危険箇所のチェックを行いましょう。

危険箇所を点検をする場合は、子どもの目線で周囲を見渡して、みるのが大切です。



【出典】救急搬送データ（鹿児島市）、両性、0～6歳、2018年度



子どものけがの発生場所No.1は、自宅!

(0~6歳)

自宅の中では、リビング、ダイニング、キッチン、階段の順に多くなっています!!

また、けがの種別の主なものは、「転倒・転落」・「誤飲・誤嚥」です。

(市消防局救急搬送データより)

「危険」なところをチェック!

子どもの目線で確認してみましょう!

家の中には「危険」がいっぱいあります!



ベランダ・窓・階段

転倒・転落 網戸に寄りかかる、カーテンに巻き付く、ベランダから身を乗り出すなど(高層階は要注意!)

誤飲・窒息 ブラインドのひもが首に引っかかる、観葉植物などの土を口に入れる

やけど 夏場高温になった手すりをさわる

その他 窓やドアに指を挟む

ポイント!

踏み台になるようなものを近くに置かないようにし、窓を簡単に開けられないよう安全グッズを使用するなど、注意しましょう。

リビング・ダイニング

転倒・転落 ソファから落ちる、じゅうたんが滑って転ぶ

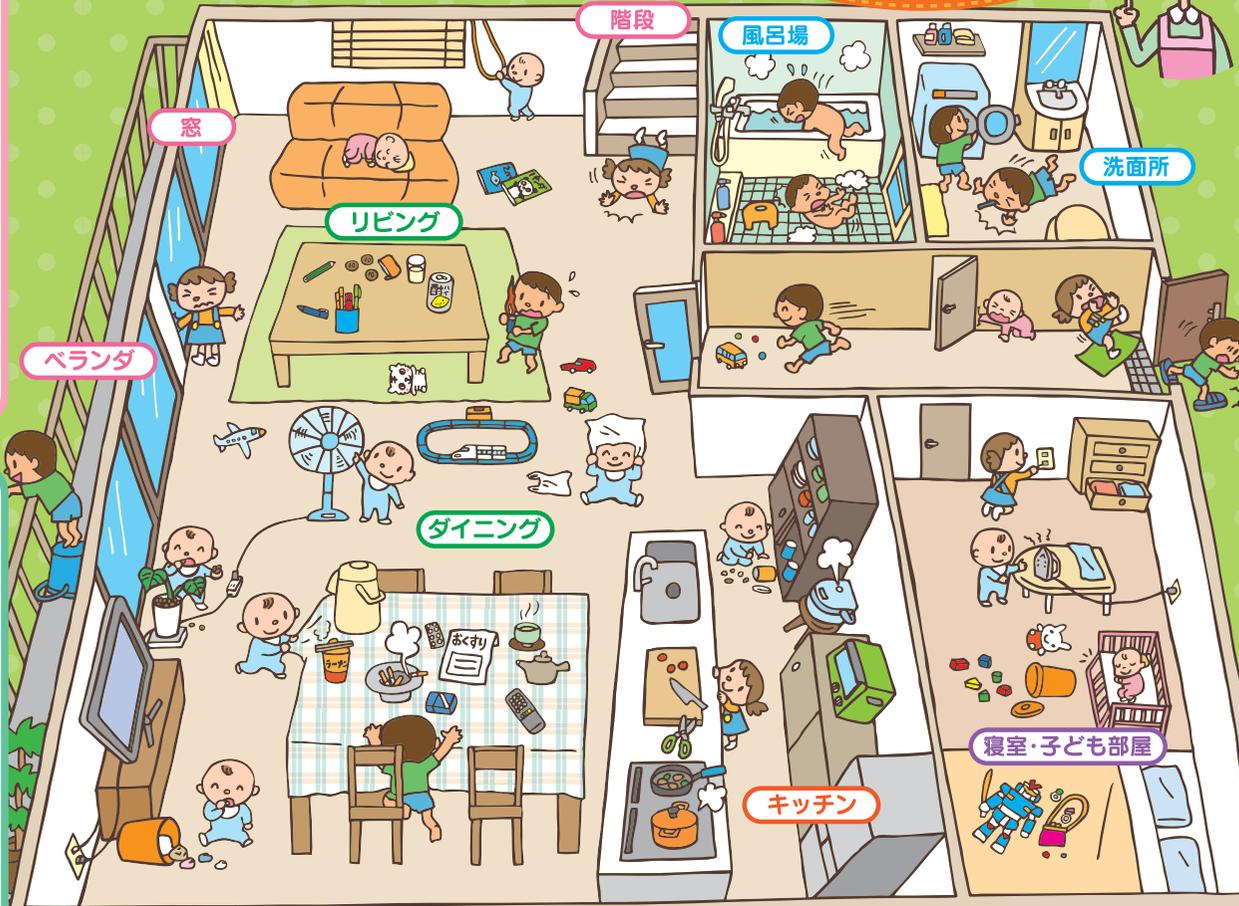
誤飲・窒息 たばこの吸い殻、ゴミ箱に捨てたものを口に入れるなど

やけど ライターで遊ぶ、ストーブの周りでふざける、テーブルのポットを倒すなど

その他 テーブルの角に頭をぶつける、クロスを引っ張って物が落ちる、扇風機に指を入れるなど

ポイント!

滑り止めやカバーを付ける、手の届かないところに置くなどして、子どもの行動に目を配りましょう。



風呂場・洗面所

転倒・転落 風呂のタイルで滑る

誤飲・窒息 風呂の水でおぼれる、洗濯洗剤を口に入れるなど

その他 歯ブラシを口に入れたまま歩く

ポイント!

浴槽内の湯は抜いておき、入れないようにドアをしっかり締めておくなどしましょう。

寝室・子ども部屋

転倒・転落 ベビーベッドから落ちる

誤飲・窒息 小さなおもちゃやボタン電池などを口に入れる

やけど アイロンや照明器具などに触れる

その他 タンスの引き出しやドアに手を挟む、コンセントに細いものを差し込む

ポイント!

柵をつける、使用後はすぐに片づける、安全グッズを使用するなど工夫しましょう。

キッチン

誤飲・窒息 小さな食材(ミニトマトなど)をのどに詰まらせる、ビニール袋を頭にかぶる、防虫剤を口に入れるなど

やけど 炊飯器の水蒸気、使用後のトースター、コンロの鍋・グリルなど

その他 包丁・はさみなどの刃物でのけが

ポイント!

キッチンには危険なものが多いので、手の届かないところに収納する、入らないように柵をするなど気を付けましょう。

みんなでつくるセーフコミュニティかごしま

鹿児島市は、第五次総合計画の都市像「人・まち・みどり みんなで創る“豊かさ”実感都市・かごしま」の実現に向け、WHO(世界保健機関)が推進するセーフコミュニティに取り組んでいます。

セーフコミュニティとは「事故やけがは原因を調べ対策を行うことにより、予防できる」という考えのもと、みなさんの身近で起こっている事故やけがを予防する取組のことです。

詳しくは 鹿児島市 子どもの安全

検索

鹿児島市子どもの安全対策委員会・鹿児島市